

CASBEE 広島 2016年版
ザ・十日市プレイス

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体		
Q 建築物の環境品質							3.1	
Q1 室内環境			0.40		-		3.5	
1 音環境		4.0	0.15	3.7	1.00		3.8	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		5.0	0.50	4.5	0.50			
1 開口部遮音性能		共通:T-2	5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		専用部:Dr=TLD56-5dB=51	-	-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		専用部:LL-40	-	-	5.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		専用部:LH-50	-	-	4.0	0.20		
1.3 吸音			-	-	-	-		
2 温熱環境		2.0	0.35	4.0	1.00		3.5	
2.1 室温制御		3.0	0.50	4.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能		共用部:外壁U1.098,開口部SC0.86,U5.5,専用部:断熱等級4	3.0	0.38	4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性			-	-	-	-		
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.7	0.25	3.5	1.00		3.3	
3.1 昼光利用		3.2	0.30	3.0	0.50			
1 昼光率		2.0	0.60	3.0	0.50			
2 方位別開口			-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		共用部:ラウンジ ハイサイドライト、専用部なし	5.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1 昼光制御		共用部:庇,専用部:カーテン(BOX)・庇(上部バルコニー)で制御	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.2	0.25	3.5	1.00		3.4	
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質		共通:内装材及び天井裏の仕上げ材はF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気		2.0	0.40	2.6	0.38			
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		専用部:居室面積の1/8以上の開口可能な窓を確保	-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理			-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-		
2 喫煙の制御			-	-	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.3	
1 機能性		3.1	0.40	3.8	1.00		3.6	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性			-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		専用部:各住戸に光ファイバーの利用可能な環境が整備されている	-	-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観			-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-		
3 内装計画			3.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		水廻りは清掃性の良い仕上材を採用	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-		2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:長尺塩ビシート20年,壁(天井):ビニルクロス貼20年(30年)	4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種:給水,汚水排水,雑排水管:B以上,E不使用	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-			

3 対応性・更新性		2.8	0.30	3.4	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり		-	-	3.8	0.50	
1 階高のゆとり	基準階階高3.02m	-	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		2.8	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅断熱等級4	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.87 LED照明を採用	4.6	0.50	-	-	4.6
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	過半に節水型水栓及び省水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	路盤材:再生クランラン,外構:パーク堆肥	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材で容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量を67%に抑制	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	附置義務以上の駐輪・駐車台数,車両待機スペースで渋滞緩和	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの過半を満たす。広告物照明等なし。	5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	